

周術期感染予防抗菌薬の適正使用に向けた薬剤師介入の実態調査

1. 研究の対象

国立がん研究センター東病院にて、2025 年 9 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日までに入院での手術を受けられた 18 歳以上の方

2. 研究目的・方法

研究目的：周術期抗菌薬の院内マニュアル順守率及び薬剤師介入状況を明らかにすることで、最適な術後感染予防策や抗菌薬による有害事象防止の確立を目指す。

研究方法：抽出されたカルテ番号から診療録を用いてデータ収集をし、収集されたデータを用いて統計解析・評価を行う。

研究実施期間：研究許可日から 2026 年 12 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療科名、術式、アレルギー歴、投与抗菌薬名

4. 試料・情報の授受

本研究で用いた試料・情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（試料・情報の授受を行う機関すべて）公式ホームページ等にて情報公開いたします。

- ・国立がん研究センターが参加する研究に関する公開情報

https://www.ncc.go.jp/jp/about/research_promotion/study/zisshi.html

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター 奥中 真白

6. お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報を守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1 国立がん研究センター東病院

代表：04-7133-1111(PHS:92082)

薬剤部 奥中 真白